

浜 川 ハ 通 信

30年11月1日
61号発行

浜通り訪問リハビリステーション

すっかり秋らしい季節になりました。今年も残すところあと2か月という季節になりました。運動や読書など、新しく始めるには絶好の季節です。最初の一步を、踏み出してみましょう！

今回は「難病」について3回にわけてお届けします！



iPS細胞などの画期的な研究が進み、難病患者への治療に明るいニュースをよく聞きます。
そもそも…「難病」ってどんな病気なんだろう？



難病とは・・・

- ・原因が分からない
- ・治療法が確立されていない
- ・長期の療養が必要

指定難病 とは上記の3つと…

- ・患者数が人口の0.1%より少ない
- ・客観的な診断基準がある

難病

指定難病

56 疾患⇒110 疾患⇒331 疾患

※H30年4月時点

指定難病は治療法の研究を行うため、国が治療費を助成するものです。

医療費助成の対象となれば、難病の治療にかかる自己負担割合が下がり、負担上限月額を超える分の負担はしなくて済みます。

「難病法」がスタートし、指定難病も大幅に増えました。今後の様々な研究に期待です！！

イギリスの物理学者、スティーヴン・ホーキング博士も難病の一つ、ALS：筋委縮性側索硬化症で2018年3月にご逝去されました。

「もし人生が面白おかしいものでないなら、生きるのは悲劇です」

2018年も残りわずか、沢山笑って楽しく過ごせますように！

